

教育DXレポート

「NEXT GIGA」を推進する ICT活用研修とは

「NEXT GIGA」とは

2019年より文部科学省が推進しているGIGAスクール構想は次の段階に入っています。1人1台の端末整備やwi-fi等のネットワーク環境構築については、公立小・中学校はほぼ完了し、公立高校においても順次進んでいます。私立においても、コロナ禍の休校対応をきっかけに環境整備が進んできています。

NEXT GIGAとは、GIGAスクール構想のもと導入・整備したICT端末等の入れ替え・更新をはじめとしたもので、GIGA2.0、アフターGIGAとも呼ばれます。令和6年度の文科省予算にも組み込まれており、全国で対応がはじまっています。

NEXT GIGAについて詳しい解説はこちらをご参照ください。



コアネットICTHP
教育ICTキーワード「NEXT GIGA」

教育ICT活用の課題

GIGAスクール構想・NEXT GIGAおよび、ICT端末やICT環境整備は課題を解消しながら着実に進展していますが、その活用状況には課題があると考えています。

学校において、お知らせの配布や各種連絡、課題の配布回収、教職員間の連絡・会議等の「情報共有」の分野については、公立・私立問わず活用が進んでいます（この分野の活用が未整備の場合はすぐに弊社にご相談ください）。

一方で、学習面における「個別学習」や「協働学習」の分野、学校生活や校務面での活用は、地域・学校間で非常にばらつきがあります。

- ・「生徒の主体性を引き出す」「個別最適な学習を行う」など、ICT活用のビジョンを定める。

- ・ICTビジョンに沿って、何のツールをどの場面で、どのように、どの程度活用するのか定める。

上記のようなICT活用を組織全体で推進するという視点が欠けていると、うまく学内に活用が広がっていきません。

ICT活用を広めるための研修計画

ここまでみてきたICTビジョンやルールの大枠を検討するのは、地域の教育委員会や管理職の役割です。

大枠を決め、現場の教職員に自治体及び学校の考え方を共有し、具体的な活用を広めるためには、研修を行うことが有効です。

〈ICT活用研修を計画するためのポイント〉

1. 他校事例や最新情報を現場の教職員に伝達する

ICTツールの具体的な活用方法を検討するのは現場の教職員です。まずは現場の皆さんが活用を検討するための材料、アイデアを提供しなければいい案が出ず、属人的な活用に留まってしまいます。

2. 小規模で継続的な研修機会を提供する

ICTツールの具体的な使い方の研修や質問対応、校内事例共有は、継続的に実施しないと定着しません。年度初めに1回のみではなく、短時間でよいので継続的に実施しましょう。

3. 外部人材を有効活用する

ICT支援員にはツールの基本的な使い方や継続的な研修をお願いし、外部講師にはICT活用型授業の組み立て方やルール作成などの上流の課題を検討するための研修の依頼等、外部人材を有効活用することが重要です。

ICT活用研修企画 教員研修講師派遣

授業での活用はもちろん、授業外での活用法など様々な観点から学校の課題に合わせて教員研修を企画し、講師を派遣します。
私立学校（学校法人）のみならず、自治体・教育委員会、公立学校からのご依頼実績も豊富にございますので、お気軽にお問い合わせください。



ICT支援員・活用アドバイザー

コアネット教育総合研究所では、長年蓄積したノウハウを携え、ICT環境整備や授業でのICT活用など教育ICTに関するあらゆる場面で適切なサポートやアドバイスを請け負っています。貴校のICT導入・活用の状況に応じてご支援内容をご提案いたします。



FAXでのお問い合わせはこちら

FAX:045-914-3015

学校名		
ご担当者氏名	(お役職)	(ご氏名)
ご連絡先 TEL		
ご連絡先 E-mail		

お問い合わせはこちら

住所 〒224-0003
横浜市都筑区中川中央1-26-10

TEL 045-914-3005
(担当：岡田、川田、坂本)

E-mail info@core-net.net

ICT活用に役立つ情報公開中

URL www.core-net.net/ict/

教育と学校経営専門のシンクタンク&コンサルティング企業



コアネット教育総合研究所

